

# 令和6年 稲作情報 穂いもち対策緊急号

※この資料は、令和6年8月7日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyuhou.html>



南会津農林事務所農業振興普及部	Tel 0241-62-5262
南郷普及所	Tel 0241-72-2243
J A会津よつば田島営農経済センター	Tel 0241-63-1172
南郷営農経済センター	Tel 0241-72-2554
下郷資材センター	Tel 0241-69-1088
只見資材センター	Tel 0241-84-2214

- 出穂後も曇雨天の日が多く、穂いもちが発生しています。  
特に南会津町（旧田島町）での発生が顕著です。
- ほ場をよく確認し、発生が見られる場合は防除を行いましょう。

## 1 いもち病防除について

- ・ いもち病の感染好適条件は夏季の低温、多雨、日照不足です。
- ・ 発生を発見したら、直ちに治療剤で防除しましょう。防除の判断に迷う場合、農林事務所やJ Aへご相談ください。

## 2 薬剤散布の例

収穫期が近づいています。事故を防ぐため、農薬を使用する際は最新の登録情報をよく確認し、必ず薬剤の使用時期や使用回数を遵守してください。

薬剤名	使用時期	施用量 (10aあたり)	使用方法	本剤の 使用回数
ブラシン粉剤 DL	収穫7日前まで	3～4 kg	散布	2回以内
ブラシンフロアブル	収穫7日前まで	1,000倍希釈 60～150ℓ	散布	2回以内
トライフロアブル	収穫14日前まで	1,000倍希釈 60～150ℓ	散布	2回以内

発生のイメージ

穂首や枝梗の組織が枯死し、  
穂が不稔となります。

